



令和2年度都市景観大賞における大賞受賞に続く快挙！

## 南町田グランベリーパークが「第40回緑の都市賞」国土交通大臣賞、 「第8回プラチナ大賞」新しい時代のまちづくり賞をダブル受賞しました！

町田市、東急株式会社、東急電鉄株式会社が、連携・共同し推進する南町田拠点創出まちづくりプロジェクト（以下、本プロジェクト）のエリア内、「南町田グランベリーパーク地区」（以下、「本地区」という。）が、第40回緑の都市賞において国土交通大臣賞を、第8回プラチナ大賞において優秀賞-新しい時代のまちづくり賞-を、それぞれ受賞しました。

「緑の都市賞」は、緑豊かなまちづくりへの貢献に対する「都市の緑3表彰」のひとつで、みどりを生かした環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化などに先進的かつ意欲的に取り組み、良好な成果を挙げた市民活動やまちづくり活動を表彰する、今年で40回目となる歴史ある賞です。今回、「緑の事業活動部門」として、公園をはじめとする「まちのオープンスペース」を新しい価値に据えた官民一体のまちづくりや、地域と一緒に取り組んできた、まちの中で育った木をまちづくりに活かす独自の取り組みなどが高く評価され、国土交通大臣賞受賞にいたりしました。

「プラチナ大賞」は、370の自治体・企業・学識者等（2020年9月時点）で構成する「プラチナ構想ネットワーク」が主催し、これからの日本が直面する社会や地域の課題を、新たな切り口、手法で解決しようとする先進的な取り組みの中で特に優れた事例を表彰する、今年で8回目となる賞です。今年には全国から58件の応募があり、最終審査に進出した14団体が10月22日にプレゼンテーションを行いました。本地区における、官民連携による歩いて楽しいウォーカブルなまちへの再編、一般財団法人の設立による将来を見据えたまちづくりと持続的な発展につながる組織体制の構築などの取組が評価され、優秀賞-新しい時代のまちづくり賞-を受賞しました。

また、これにより、町田市は、東京都内で2番目となる「プラチナシティ認定自治体」となりました。



▲まちのオープンスペースとなるプラザ



▲プラチナ大賞 授賞式の様子

「南町田グランベリーパーク」は、田園都市線「南町田グランベリーパーク駅」（2019年10月1日に「南町田駅」から改称）南側に広がる鶴間公園と、2017年2月に閉館したグランベリーモール跡地を中心とする約22haのエリアを指し、官民が連携し、都市基盤・商業施設・都市公園・駅などを一体的に再整備・再構築し、自然と賑わいが融合したパークライフを満喫できる「新しい暮らしの拠点」を創り出していくまちづくりプロジェクトが進行しています。

駅を降り立った瞬間から空とみどりをふんだんに感じる「まちのぜんぶがパークとなる」というコンセプトの下、このまちで過ごすだけでいつの間にか心も身体も健康になる「南町田ならではのパークライフの実現」に向け、官民の境目なく、オープンスペースを中心とした市街地のリデザイン（再編集）を施し、まちそのものが、郊外住宅地における“暮らしのグリーンインフラ”となることを目指しています。

評価された取り組み事例や本地区概要につきましては、別紙のとおりです。

以 上



【別紙】

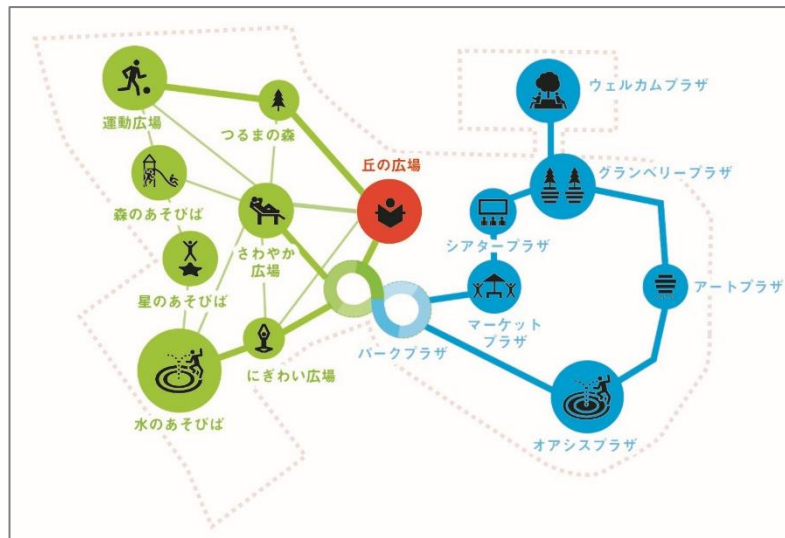
<位置図>



1. 評価された取組事例

■まちのオープンスペースを基調としたウォークラブルなまちづくり

商業施設と鶴間公園の間に位置していた車道(南1604号線の一部)を再配置し、商業施設と公園をシームレスに繋ぐとともに、まちを回遊する歩行者ネットワークを形成しました。さらに、ネットワーク上に連続するように、官民が協力して14の広場空間を配置し、積極的に緑化やベンチ・デッキを配置することで、人々の活動や憩いが生まれるよう工夫を施した“歩いて楽しいまち”としました。



◀ (左)まちをめぐる歩行者ネットワークと14の広場

▲ (上)鶴間公園さわやか広場

■まちで育った木をまちづくりに活かす取組

プロジェクトに伴って伐採など整備の手を加えることになった公園の木々に対する地域の方々の思いを新しいまちにつなげていくために、本プロジェクトでは、都市の中の緑のあり方や、その活用の方法を市民とともに学び、苗木採りや植樹、伐採材の製材などを体験するプログラムを4年にわたり実施しました。その集大成となる取組として、パークライフ・サイト内「まちライブラリー」に、公園などの伐採材から作製した本棚、椅子・テーブルなどの什器を設置し、公園の緑を眼前にした、木の香りに包まれた豊かな空間が生まれ、多くの市民に親しまれています。



▲ 伐採材からつくった什器を配置したまちライブラリー



- ▶(左)整備前の公園で採取した苗木を再び公園に戻す植樹祭(2019年10月)
- ▶(右)公園の伐採材等から作ったウッドブロックでパークライフ・サイトの壁を仕上げるワークショップ(2019年11月)



## ■一般財団法人みなみまちだをみんなのまちへ

南町田グランベリーパークの活力と魅力を持続的なものとしていくため、2020年7月に、町田市と東急(株)が共同で、「一般財団法人みなみまちだをみんなのまちへ」(以下、「本法人」)を設立しました。

本法人は、パーク内の各施設運営者や市民等が連携して、まち全体で繰り広げるイベントやPRなどの多様な活動や、まちライブラリーなどのコミュニティ育成活動を資金的に支える、“まちのみんなでお財布”として機能していることが大きな特徴です。また、町田市ふるさと納税の目的別寄附「みなみまちだをみんなのまちへ 南町田グランベリーパークを盛り上げよう！」で寄せられた寄附金は、本法人の資金として活用しています。

## 2. 各賞主催元による公表

【緑の都市賞】公益財団法人都市緑化機構によるプレスリリース(2020年10月22日)

[https://urbangreen.or.jp/info-grant/3hyosho/3toshisho/201022\\_press\\_toshinomidori3hyosho](https://urbangreen.or.jp/info-grant/3hyosho/3toshisho/201022_press_toshinomidori3hyosho)

【プラチナ大賞】第8回プラチナ大賞ホームページ

<http://www.platinum-network.jp/pt-taishou2020/schedule.html>

※「プラチナシティ認定自治体」:「プラチナ大賞」で各賞を受賞した自治体で、54自治体が選定されています。

(参考)「南町田グランベリーパーク」の概要

- ・まち名称 「南町田グランベリーパーク(Minami-machida Grandberry Park)」
- ・敷地面積 約22ha
- ・交通 田園都市線南町田グランベリーパーク駅直結 / 東名高速道路横浜町田ICから約1分
- ・開業日 2019年11月13日
- ・南町田拠点創出まちづくりプロジェクトホームページ <http://minami-machida.town>  
※商業施設名称は「グランベリーパーク(Grandberry Park)」



・そのほかの受賞歴など

### ■令和2年度都市景観大賞「都市空間部門」国土交通大臣賞

2020年6月に、南町田拠点創出まちづくりプロジェクトのエリア内、「南町田グランベリーパーク地区」が、令和2年度都市景観大賞「都市空間部門」において、大賞にあたる国土交通大臣賞を受賞しました。都市景観大賞は、平成3年度から「都市景観100選」として始まった、まちづくり分野における由緒ある賞で、このうち、「都市空間部門」の選定対象は、公共的空間と建物などが一体となって、良質で優れた都市景観が形成され、市民に十分に活用された地区と規定されています。本プロジェクトの、官民一体で取り組んだシームレスなまちの構造と、質の高い空間整備が高く評価され、大賞受賞にいたしました。

※国土交通省による記者発表(2020年6月11日「令和2年度「都市景観大賞」各賞の選定～良好な景観に資する地区・活動について、特に優れたものを表彰～」)

[https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi10\\_hh\\_000343.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi10_hh_000343.html)

### ■国際的な環境認証制度LEED®(Leadership in Energy and Environmental Design)におけるゴールド認証

「南町田グランベリーパーク」のうち約15haの区域(以下、「申請エリア」)において、2020年6月に駅舎部分に関する「LEED NC(新築部門)」のゴールド認証を、同年7月に申請エリアに関する「LEED ND(まちづくり部門)」のゴールド認証をそれぞれ取得しました。駅舎建築物としてのゴールド認証の取得、駅舎を含む開発エリアのゴールド認証の取得ともに、国内初です。

LEED®は、米国グリーンビルディング協会が所管する環境性能 評価指標のことであり、環境配慮型の建物や敷地利用を評価対象とし、環境性能を様々な視点から評価することで、エネルギー効率にすぐれ、持続可能な建築物を普及することを目的とした評価制度です。「BD+C(建築設計および建設)」「ND(近隣開発)」など6つの評価分野があり、世界全体で8万を超えるプロジェクトが認証を取得しています。

以 上